

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (近畿)	◎	百貨店（マネージャー）	・9月末から10月にかけての、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の開催に合わせて、県内を訪問する人が増える見込みである。それに伴い、土産物需要の増加が見込まれる。
	○	一般小売店〔化粧品〕 （経営者）	・秋物商戦の立ち上がり商材を8月末から販売し、リップなどの商材では一部で品切れが起きるなど、話題性のある商品の動きは良い。海外高級ブランドのリップなど、高級ブランドに対する若年層への反応は良く、この秋冬商戦で更なる売上の増加が予想されるため、今秋はメイク市場が好調になりそうである。
	○	百貨店（外商担当）	・高級な海外ブランド品や時計については、今まで在庫がなかった商材の生産が増えており、少し供給が始まると予想される。それに伴い、売上の増加につながる見通しである。
	○	百貨店（サービス担当）	・いよいよ大阪・関西万博の開幕まで1か月強となり、関連商品の売場の売上拡大が予想される。また、地階や菓子売場のリニューアルによる相乗効果で、食料品フロアが好調に推移することが期待される。
	○	コンビニ（店員）	・気候が良くなり、外出する機会が増えてくれば、来客数は戻ってくると予想される。インバウンドも大阪・関西万博の開催効果により、多くの国からの客が増えている。
	○	コンビニ（店員）	・気温が落ち着けば客足が伸びるほか、食欲の秋には新たなキャンペーンの予定もあるため、景気が上向くことを期待している。
	○	家電量販店（経営者）	・補助金の申請の締切日を控えて、客からの問合せの増加が期待される。
	○	乗用車販売店（支店長）	・平均株価が4万3000円を超えて、好調に推移しているため、特に富裕層の財布のひもが緩み、購入に動くことが予想される。
	○	乗用車販売店（役員）	・米国の関税問題が落ち着きつつあるほか、ウクライナ等の紛争も終息に向かっている。今後も現状のように平均株価が上昇するようであれば、更に良くなる期待が持てる。ただし、高級輸入車は富裕層にターゲットが絞られるなか、ブランド間の販売競争が激化している。さらに、国産車の高級車両とも競合関係にあるため、従来のようなブランド頼みでは通用しない。
	○	高級レストラン（企画）	・大阪エリアに限定されていた大阪・関西万博に伴う宿泊需要が、周辺地域に波及することが予想されるほか、国内旅行にも賃金の増加による影響が徐々に出てくることが見込まれる。
	○	一般レストラン（経営者）	・大阪・関西万博の開幕により、観光客への影響がどの程度出るかは不透明であるが、猛暑も落ち着き、人が外に出て活動し始める。また、アジア圏の国慶節を迎え、インバウンドが増えることも期待されるため、景気が回復に向かうと予想される。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・第3四半期はインバウンド需要が堅調である。大阪・関西万博の終了による影響を懸念しているが、今のところは順調な推移がみられる。
	○	都市型ホテル（客室担当）	・紅葉のシーズンは比較的好調に予約が入っているが、経費の高騰で利益が減少している。売上は前年の水準を上回っても、利益は減少する可能性がある。
	○	旅行代理店（役員）	・今後は猛暑が和らぎ、涼しくなることで、秋の行楽シーズンに向けた旅行需要の高まりが期待される。また、最大で9連休となる年末年始についても、旅行業界にとってはプラスの影響が大きいと予想される。
	○	通信会社（社員）	・秋以降に向けて、スマートフォンの発売やAIブームなど、ネット関連の需要が盛り上がってくると期待している。
○	通信会社（営業担当）	・年末商戦で商業施設への来客数が増えるため、良くなることが予想される。	
○	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕 （企画担当）	・大阪・関西万博が終了するほか、猛暑も終わることで、人の流れが戻ってくることを期待している。	

<input type="radio"/>	その他住宅 [展示場] (従業員)	・特に資金が潤沢にある60代以上のシニア層が積極的に動いており、今後も当面はその傾向が続くと予想される。
<input type="radio"/>	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・不動産価格の高騰はマンションを中心に続いているが、都心物件は引き続き好調を維持している。実需向けの戸建て住宅などでは、販売不振となるケースも増えているが、全体的には物件の値上がり傾向が、消費マインドの維持につながっている。
<input type="radio"/>	その他住宅 [住宅設備] (営業担当)	・関西で新規工事の受注が少し増えており、近い将来の期待材料となっている。ただし、人手不足の問題は棚上げされたままで、少ない人員で現状とプラスアルファの仕事をこなしている状況であり、これを早く解消する必要がある。
<input type="checkbox"/>	商店街 (代表者)	・今後もしばらくは猛暑が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [花] (経営者)	・最近の異常気象で生産面に影響が出ているほか、商品価格が高騰し、販売量にも影響がみられるなど、今のところは景気が上向く兆しはない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [鮮魚] (営業担当)	・10月からの商品の値上げにより、買い控えが予想される。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [野菜] (店長)	・大きく流れが変わるようなことがない限り、今の状況が続く。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [呉服] (店員)	・猛暑のため、着物の手入れも大変になっている。着物の在庫から、洗う物や染み抜きをする物を探すにも、在庫のある部屋に行くことすらちゅうちょされる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [菓子] (営業担当)	・猛暑が落ち着き、飲料や煎餅、焼き菓子などの動きが増えることを期待している。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場主任)	・物価の上昇が続くことへの不安から、購入を控えるという声が出ている。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (広報担当)	・今のところは売上の基調が変化する要因が見当たらない。前年の実績に対して、しばらくは一進一退の動きが続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (商品担当)	・国内では政治問題や物価上昇の悪影響が懸念されるほか、国外では米国の関税問題や紛争関連のリスクがある。いずれかの要素が落ち着かない限り、中長期的に良くなることは期待しにくい。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・秋以降は富裕層の来店頻度の回復が見込める一方、高級ブランドの相次ぐ値上げによる影響も考えられ、全体として前年比では横ばいの推移となる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売推進担当)	・猛暑が続いて、生鮮食品の需給バランスが崩れそうであるため、先行きの見通しは厳しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販促担当)	・今後も厳しい残暑が続くと予想され、秋物商戦はかなり苦戦しそうである。ただし、前年も10月まで残暑が続いたため、メーカーも日本の四季に猛暑を加えた五季への対応を進めており、大きな減退にはならない。店舗としても、気温の推移を加味した細かな商品展開を行うなど、やや守りを固める時期となる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業推進担当)	・天候などの影響で、一時的にインバウンド売上が増えているが、10月以降は減少傾向となりそうである。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (宣伝担当)	・大阪・関西万博が終了する10月までは、来客数の好調な動きが続くと予想しており、それに向けた商品展開を準備している。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・現在はインバウンドによる来客数は安定しており、ここ数か月と比べて増加傾向にある。一方、国内客の動きは不安定で、特に足元の商圏からの来客数が、前年並みか微減という状況が続いている。足元の商圏での消費回復が、今後の重要なポイントとなる。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・全体的な流れは変わらず、国内中間層の動きは節約志向や選択消費が続き、大阪・関西万博に代わる目新しいコンテンツの訴求がポイントとなる。一方、富裕層の消費は、時計や特選品といった付加価値の高い品ぞろえにより、堅調に推移するとみられる。インバウンドについては地区特有の恩恵がしばらく続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・米国の関税問題や政情不安などで、混とんとした状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・物価の上昇に収入の増加が追い付かず、政策についても給付金か減税かの見通しが立たないため、現状から大きく変わることはない。

<input type="checkbox"/>	スーパー（店員）	・今後も暑い日が続けば、商品や価格の動きへの影響も続くため、現状からの大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・9月も気温は高めで推移する予想であり、客足にも影響が出るため、ピークの時間帯の来客数は減少が続く見込みである。今後も商品価格の上昇が予想されるなか、現状で買上点数は既に伸び悩み、必要な物だけを購入する動きがみられる。いかにしてもう1品を購入してもらう売場作りができるかが重要であり、高付加価値商品などで価値訴求型の販売を進めていく。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・商品価格の上昇は続くものの、景気に大きな影響はなく、現状のままと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経理担当）	・パニック的な米への需要は、備蓄米の放出や新米の出回りによって落ち着きをみせている。その一方、新米の価格は高騰しており、食料品価格の上昇も続いていることから、年末商戦までに消費が盛り上がることはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売促進担当）	・しばらくは来客数が横ばいの推移となるほか、商品価格の上昇による単価の上昇で、売上は微増での推移が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画）	・最低賃金は63円から64円の引上げで決定したが、それ以上に物価は上昇することが予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博の開催期間中は、今の高水準での来客数が期待できるほか、値上げ効果により、客単価も高い水準で推移しそうである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・最低賃金が見直されても、すぐに大きな変化はないと予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・大阪・関西万博が終わるまでは、大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・物価の上昇が止まらず、異常気象で野菜の価格も高騰している。家計の厳しい状況は更に深刻化しており、景気の改善はないとみられる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・まだ価格の上昇気運が強く、消費者の財布のひもは固い。また、仕入価格の上昇も続いているため、利益が圧迫されている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店員）	・年々気温が高くなり、暑い時期が長くなっているため、状況は変わらないと予想される。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	・リフォーム補助金が販売に余りプラスとなっていない。今後は販売が増える季節となるが、補助金の支給要件に内窓を中心とした断熱関連商品が入ったほか、各メーカーの商品価格の高騰により、なかなか契約に至らない状況が続きそうである。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（営業担当）	・大阪・関西万博の開催で盛り上がっている間は、この勢いが続くことを期待しているが、万博の終了後がかなり心配される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・大手企業は今年も賃上げが行われているが、物価の上昇がどの程度続くかが注目される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・景気は悪化に向かうと考えている客が多い。特に設備投資の減少が続くとの見方が多く、財布のひもは固くならざるを得ない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・国内政治や米国情勢の先行き不透明感など、プラス材料が見当たらない。悪くはならないものの、良くもならないと予想される。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・物価上昇の影響で自動車の車両価格が上昇し、購入のキャンセルも出ている。今後も好転する材料はない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・基本的な給与水準が上がらない限り、今の状況が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ドラッグストア〕（店員）	・当地は10月に最低賃金が63円の引上げとなるが、正規社員の賃金が増えることはない。賃金全体が底上げとなれば、景気も良くなることを予想される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔医薬品〕（管理担当）	・猛暑が続いたことで、夏物商材やスキンケア商材は順調であったが、売上全体は横ばいか減少傾向となっている。今後は季節商材が切り替わるものの、食品価格の上昇も続いているため、大きな上昇要因は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・株価の上昇などで、一見すると景気は良いように見えるが、物価の上昇は続いている。仕入価格や営業経費の高騰分が価格転嫁できない業種では、企業収益が圧迫されているため、先行きの景気が大きく変わることはない。

<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品] (販売担当)	・ 8月から、生活必需品である様々な食品の価格が値上がりしている。客の財布のひもはもちろん固く、心理面でも宝飾品に関心が向かうことは期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販] (オペレーター)	・ 販売量が増える時期ではないため、先行きは期待できない。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [ショッピングセンター] (総括)	・ 政治が不安定なほか、米国の関税問題の影響などが読めない状況が続く。天候も異常であるなど、安心して消費できる雰囲気ではない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン (スタッフ)	・ 大阪・関西万博が閉幕するまでは、客足は戻らない可能性がある。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン (企画)	・ 今年に入り、4～5月に落ち込みはあったが、ここ3か月は売上に大きな変化はなく、材料費も高水準であるが落ち着いている。今後は原材料費への影響が大きい、米の価格がどう変化するかが心配である。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [洋菓子] (管理担当)	・ 駅周辺の工事が続くため、人の動線の変化による悪影響も続く。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [自動販売機 (飲料)] (管理担当)	・ 良くなる要因は全くないが、値上げに対しても客は鈍感になっている。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	・ 世界情勢が不安定なほか、米国の関税引上げの影響も見極めが難しいなど、先行き不透明な状態が続く。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル (経営者)	・ 9月から10月上旬は、大阪・関西万博関連の団体予約もあり、順調に推移すると予想される。万博閉幕後の反動も、現時点では特にみられない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館 (経営者)	・ 良くなる要因が見当たらないほか、大阪・関西万博の影響も続きそうである。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (スタッフ)	・ 一定の予約は入っているものの、今一つ伸びがみられない。夏休みの動きが例年よりも悪かったことや、新型コロナウイルスの感染拡大も心配の種である。インバウンドは中国を中心に増加傾向にあるものの、国内客の利用はやはり少ない。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル (管理担当)	・ 良くなる要因が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店 (支店長)	・ 残暑が厳しくなるとの予報で、客の旅行マインドが低迷している。秋の紅葉シーズンに向けての、酷暑による影響もかなり心配である。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・ 気候による影響に左右される。大阪・関西万博が閉幕し、暑さも落ち着いてくることで、利用客は減少する。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・ しばらくは酷暑が続くなか、大阪・関西万博の開催も残り2か月を切り、駆け込み客も増えることが予想される。
<input type="checkbox"/>	通信会社 [貴金属オークション] (経営者)	・ 先行きは不透明感が強く、地金などの貴金属相場下落により、状況が一気に悪化する可能性もある。
<input type="checkbox"/>	通信会社 (社員)	・ 新型スマートフォンの価格について、米国の関税による影響が注目される。
<input type="checkbox"/>	観光名所 (企画担当)	・ 大阪・関西万博終了後の状況は見通せないが、日本人客の回復が期待できる。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場 (支配人)	・ 予約状況を考慮すると、集客面では安定的な推移が見込まれるが、単価の調整による集客の確保が中心のため、全体の収益は現状並みで、景気に大きな変化はない。
<input type="checkbox"/>	競艇場 (職員)	・ 賃上げなどのプラス材料と、物価の上昇や社会不安の増加といったマイナス材料があり、景気がどちらに変化するかの見極めが難しい。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール] (職員)	・ 販売量などに目立った変化はみられないが、催事に関する経費にも節約志向が強く働いている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (経営者)	・ 参議院選挙後は、不安定ながらも横ばいの状況が続いており、大きな動きがない限り、現状維持となる。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (経営者)	・ 足元の状況は変わらないと諦めている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (従業員)	・ 郊外のマンションは売行きが悪いものの、デベロッパー各社は都心物件の販売が好調なほか、資金面での余裕もあり、現状が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社 (企画担当)	・ 好転する材料が見当たらない。値上げの動きは緩やかであるが、今後も止まらないと予想される。

▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・先行きの見通しが全く立たない。楽観視はできず、悲観的にも考えていないが、大阪・関西万博の閉幕による影響が、地元の景気に少なからず出るため、その変化も含めて注目している。
▲	一般小売店〔手ぬぐい〕（経営者）	・大阪・関西万博の開催に伴う需要が減る。
▲	一般小売店〔花〕（店員）	・価格の上昇が続き、客の購買意欲が悪化している。明るい話題はなく、今後も売上の減少が予想される。
▲	百貨店（企画担当）	・米国の関税引上げによる影響が出てくると予想される。
▲	百貨店（管理担当）	・リニューアル工事を予定しており、業況は悪化が見込まれる。
▲	百貨店（商品担当）	・残暑が予想され、例年以上に秋口の衣料品は不振となることが予想される。メーカーも生産量を減らしており、バーゲンセールへの対応も厳しい。大阪・関西万博が終われば、特段の需要喚起のイベントもなく、単発の来店促進策では売上の大幅な増加にはつながらない。
▲	百貨店（売場マネージャー）	・残暑が例年よりも長くなる見通しもあり、季節商材の動きが鈍化するリスクを懸念している。四季の変化が年々極端になっており、消費行動に直接的な影響が出ると予想される。
▲	スーパー（経営者）	・最低賃金の引上げが報じられ、生産性を高める必要性が指摘されているが、対応し切れない。多くの中小企業は、雇用を控えるなどの対策しか取れないため、景気は低迷することが懸念される。
▲	スーパー（社員）	・客の買物動向は、今後更に慎重になると予想される。価格競争が厳しいなかで、競合店は更なる増加が予定されており、売上は厳しい状況が続く見込みである。
▲	スーパー（企画）	・食物品価は上がり続けており、来客数や販売量に影響が出ている。米は安定的に供給されているが、価格が高いため、他の食品の買上点数が下がるといった影響がみられる。この傾向はしばらく続くことが予想される。
▲	スーパー（開発担当）	・物価上昇への対策が打ち出せていない。
▲	コンビニ（経営者）	・大阪・関西万博の閉幕で、インバウンドも減少傾向となる。商品の量を増やし、おにぎりやサンドウィッチなどのファーストフードを充実させることで、売上の増加を目指す。
▲	コンビニ（経営者）	・今後は人件費と利益のバランスが崩れることが予想される。
▲	コンビニ（店長）	・インバウンド効果の減少が予想される。
▲	家電量販店（店員）	・消費者には家電の購入を優先する余裕がなく、今後も厳しい状況が続く。年末に向けても期待はできない。
▲	家電量販店（人事担当）	・気象庁の予報によると、10月の終わり頃まで高い気温が続くため、今年も秋の季節が短くなる。
▲	乗用車販売店（経営者）	・ロシアによるウクライナ侵攻の問題や、イスラエルの問題も解決の糸口がみえないほか、米国の政策に振り回される状態が続いている。国内的には政権与党の求心力が低下しており、社会情勢が安定して景気が上向くまでには、まだ時間が掛かりそうである。
▲	住関連専門店（店員）	・賃金などに変化はないが、値上げの動きは止まらないため、生活は苦しくなるばかりである。
▲	その他専門店〔食品〕（経営者）	・今年の米の価格や、全体の物価が下がることはないため、回復までには時間が掛かる。
▲	一般レストラン（店員）	・今後も物価上昇の影響が続き、所得が増える見込みもないため、外食を控える動きが増える。
▲	一般レストラン（店主）	・野菜などの様々な価格がかなり上がっているため、先行きには期待できない。
▲	観光型旅館（経営者）	・良くなる気配がない。関西圏内の客が大阪・関西万博への来場でお金を使い、1泊2食の家族旅行を控える傾向がみられる。万博終了後に近場の旅行が回復することを期待している。
▲	観光型旅館（団体役員）	・夏の最盛期が過ぎれば、閑散期に入するため、多くの来訪客は見込めない。
▲	通信会社（経営者）	・今後も円安傾向の継続が予想される。
▲	通信会社（役員）	・物価上昇による影響が大きい。
▲	遊園地（経営者）	・国際情勢を含めて政治の先行きが不透明であり、効果的な景気対策が実施される見込みも薄い。

	▲	その他レジャー [スポーツ施設] (業務担当)	・原価の高騰による影響が懸念される。異常気象によって、空調管理などで水道光熱費の負担が増えるなど、明るい材料が見当たらない。
	▲	その他レジャー施設 [球場] (経理担当)	・9月は大きなイベントや人気歌手のコンサートが開催されるため、集客は期待できるが、プロ野球シーズンが終了となる10月は企業イベントが中心となるため、来客数が減少すると予想される。
	▲	美容室 (店員)	・涼しくなるにつれて、客の来店周期が長くなる傾向がある。
	▲	その他サービス [学習塾] (スタッフ)	・景気が回復しなければ、教育費の削減が進む。
	▲	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・金利や物価の上昇による影響が予想されるなか、不動産の取引件数も減少傾向となる。
	×	一般小売店 [貴金属製品] (従業員)	・減税の動きが進んでいない。
	×	一般小売店 [ガラス細工] (店長)	・明るい兆しが全くみられない。
	×	一般小売店 [書籍] (管理担当)	・大阪・関西万博の閉幕により、来客数が大きく落ち込むと予想される。
	×	百貨店 (売場主任)	・米国の関税問題や国内の政治問題といった不確定要素が多く、安心できない雰囲気が景気に悪影響を与えており、当面はこの傾向が続くと予想される。
	×	衣料品専門店 (経営者)	・家計が食料品を購入した予算の残りで、気軽に購入できるような品ぞろえとなっているが、価格の上昇で買にくい状況が続いている。今後も消費税や社会保険料の負担を減らすといった景気対策の効果が出なければ、消費は回復しない。
	×	衣料品専門店 (経営者)	・円高の動きが進み、少し物価の上昇が緩和されない限り、景気は良くならない。
	×	住関連専門店 (店長)	・来客数が伸びず、客単価も下がっている一方、コストは上がっているため、利益の出にくい状態が続いている。
	×	その他飲食 [ジャズバー] (店員)	・物価の上昇などで来客数が減っている。
	×	競輪場 (職員)	・依然として物価の上昇が止まらず、賃金の増加などが追い付いていない。また、例年はこの時期から悪くなる傾向があるなか、状況を打破する要素が見当たらない。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業 (経営者)	・例年、夏場は売上が落ちるが、今年は例年以上に売上が落ち込んでいる。為替も円安傾向で不安定な動きとなり、輸入の多い当社にはメリットがない。米国の関税による影響で、海外の仕入先から値上げが求められているため、営業活動により一層力を入れるしかない。
	◎	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・需要の基調が今後は上向くため、8月と比較すると大幅に良くなる。
	○	食料品製造業 (営業担当)	・10月まで大阪・関西万博が開催されるほか、残暑もしばらく続くため、飲料の売上はやや良くなる。
	○	化学工業 (企画担当)	・酷暑による需要低迷やインバウンドの消費スタイルの変化で、食品の需要が低価格品にシフトした結果、収益が悪化している。年末が近づけば、需要は徐々に改善することが期待される。
	○	電気機械器具製造業 (経理担当)	・引き続き案件は増えているが、いつまで続くかは不透明である。取引先からは、今後の物価上昇を見据えた先行投資と受け取れる発言も多い。
	○	輸送業 (営業担当)	・婚礼シーズンになるため、家具が少し売れると予想している。
	○	その他非製造業 [衣服卸] (経営者)	・大阪では大阪・関西万博の効果がみられ、東京では世界陸上などのスポーツイベントの計画があるため、当面は活発な状況が続くと予想される。
	□	食料品製造業 (従業員)	・少し涼しくなって購入機会が増えれば、値上げの影響で少しは良くなるが、残暑の影響も長引きそうであり、大きな期待はもてない。
	□	食料品製造業 (管理担当)	・このまま好調なペースが続く見込みである。
	□	繊維工業 (総務担当)	・消費者の生活に余裕が出てこなければ、嗜好品への支出も増えないため、今後も厳しい販売状況が続くようである。

□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・一部の取引先を除いて、増産の情報がない。
□	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・大阪・関西万博が終了し、動きはやや落ち着くものの、今後も何らかのイベントが行われると予想される。
□	化学工業（経営者）	・前年ほど悪くないが、これ以上良くなる要素が見当たらない。
□	プラスチック製品製造業（経営者）	・低成長ではあるものの、現状維持が続くと予想される。従来の製品に対するリピート注文があり、売上の減少を補う形になっている。
□	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・2～3か月先も、受注量や受注価格は安定している。外部要因の大きな変化がない限り、変わらないと予想される。
□	金属製品製造業（経営者）	・受注は低水準での安定した動きが続く見込みである。
□	金属製品製造業（製造担当）	・建築資材価格の高騰が続いているため、受注の増加は期待できない。
□	一般機械器具製造業（経営者）	・納期の長い引き合いはあるが、受注に至るまでに時間が掛かるため、今後数か月の景況が改善することはない。
□	一般機械器具製造業（設計担当）	・過去数か月は変動が少ないため、今後も大きくは変わらない。
□	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・物価の上昇が続くなか、先行きの不透明感は払拭できない。
□	輸送用機械器具製造業（役員）	・受注から実際の売上につながるまでのリードタイムが、平均15か月のまま短くならない。
□	建設業（経営者）	・案件の問合せ状況から判断すると、しばらくは大きな変化がないと予想される。
□	建設業（経営者）	・人手不足や働き方改革による、人件費の高騰が予想される。建設資材価格についても、米国の関税引上げによって先がみえない。また、今後も建設費の高騰が予想されるなか、設備投資計画の鈍化につながることを懸念される。
□	建設業（経営者）	・物価の上昇に対し、収入の増加が明らかに追いついていない。
□	建設業（営業担当）	・大阪・関西万博が閉幕するものの、しばらくは大型プロジェクトが続く見込みである。
□	輸送業（商品管理担当）	・夏が過ぎれば動きが落ち着いてくるため、大きな変化はない。
□	金融業〔保険〕（経営者）	・特段の上昇要因が見当たらない。
□	金融業（営業担当）	・取引先との会話では、先行きも大阪・関西万博による需要は期待できないなど、景気動向に変化はないと予想される。
□	金融業（営業担当）	・野菜類の価格が軒並み高く、消費者の間で負担感が強まる。
□	広告代理店（営業担当）	・11月頃までは、好調な状況が続く見通しである。
□	司法書士	・会社の設立や増資といった案件がなく、変化につながる要素がないため、大きくは変わらない。
□	その他サービス〔自動車修理〕（経営者）	・材料費の上昇が続いているが、それに伴う値上げは簡単ではない。
□	その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）	・客の給料の手取り額が増えない一方、原材料費が上がり続けているが、客や取引先に対して一定の価格転嫁ができていないため、2～3か月先の業況に変化はない。ただし、物価と賃金の状況が今後も変わらないようであれば、1～2年先には悪化に向かうことが懸念される。
□	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・夏物商材は決められた数量が3～4月に入ってくるが、今年は早めに販売できたため、売れ残りが出ず、良い状況となっている。
▲	化学工業（管理担当）	・米国の関税による影響が出てくる。
▲	その他製造業〔履物〕（団体職員）	・好転する要因などが全く見当たらない。
▲	輸送業（経営者）	・取引先からは、配送車両を減らすと通知されている。
▲	通信業（管理担当）	・下がりかけた米の価格が上向いているほか、気温の上昇で野菜や卵の価格が高騰している。
▲	不動産業（営業担当）	・貸店舗の空きが増えており、今後も賃料の低下や空室率の上昇が進むことで、景気は悪くなる。
▲	経営コンサルタント	・小売業の取引先では、大阪・関西万博の需要がなくなった後、次の商機を見込んでいる取引先はみられない。

	▲	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・大阪・関西万博が閉幕した後の、消費マインドの低下が懸念される。外国人観光客による消費を期待したいが、駅ナカでは元々利用が乏しいため、大きな期待は持てない。
	×	輸送業（営業担当）	・労働環境の悪さが原因で人手不足になり、その影響で労働環境が更に悪化するという悪循環が生じている。
	×	金融業〔投資運用業〕（代表）	・せめて景気が悪いときには、消費税率を下げるといった対応がなければ、先行きの見通しは厳しい。
	×	その他非製造業〔電気業〕（営業担当）	・基本的には産業構造の変換が必要とみられる。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社（役員）	・最近の傾向は年間を通して続いており、今後も続くことが見込まれる。
	○	人材派遣会社（支店長）	・下半期に向けて、徐々に改善することが予想される。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・2026年卒の採用予定が充足できず、求人を申し込む企業が増える見込みである。ここ数年は10月の内定式以降にも内定を辞退する学生が多く、年間を通して求人の申込みがある。また、次の2027年卒の求人申込みも動きが早まる見込みである。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・大阪・関西万博で就業中である、大量の派遣社員の業務が終了するため、雇用情勢は少し回復する。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・現在就業中のスタッフの時給改定がなかなか進まず、物価の上昇に追いついていない印象を受ける。
	□	人材派遣会社（管理担当）	・大阪・関西万博も終盤を迎え、閉幕後は就業先が大幅に減少するなか、万博での就業者が流れてくることを期待している。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・今までも効果的な対応ができていないため、今後も大きな変化はない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・下半期に向けて、関西企業には大きな動きがみられない。
	□	職業安定所（職員）	・多くの産業で人手が不足しているが、原材料価格や光熱費などの高騰で収益が圧迫され、求人を控える動きが続いている。今後も物価の動向には注意が必要なほか、米国の関税引上げの影響など、経済や雇用情勢の先行きは不透明である。
	□	職業安定所（職員）	・求人数は前年並みの水準であり、当面は変化がないと予想される。ただし、最低賃金の引上げによる求人への影響には注意が必要である。
	□	職業安定所（職員）	・今年度に入って約半年となるが、依然として物価上昇の動きは変わらず、税金や社会保険料などが減少する兆しもなく、消費が増えるとは考えにくい状況である。
	□	民間職業紹介機関（職員）	・建設業の動向については、いまだ不透明なままである。
	□	民間職業紹介機関（営業担当）	・しばらくは変化につながる要素が見当たらない。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・参議院選挙が終了したが、減税などの国民の希望が政策に反映されるかどうかは不透明である。初任給の上昇はみられるものの、それを上回る物価の上昇があるため、減税などが実施されなければ、身の回りの景気判断もなかなか良くならない。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・利益の圧迫要因の1つに、人件費の高騰も挙げられる。今後は求人の募集動向のほか、最低賃金の63円の引上げによる影響にも注目したい。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・大阪・関西万博の終了後、あふれてくる求職者の受皿となる求人が、現状は見当たらない。
	▲	職業安定所（職員）	・最低賃金の大幅なアップによる、中小企業の負担に対する不安の声が上がっているなど、人件費の負担増や物価上昇による影響が、少なからず出てくるのが懸念される。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・雇用条件の改善が、物価の上昇ペースに追いついていない。
	▲	学校〔大学〕（就職担当）	・将来的にも景気が良くなる材料が見当たらない。
×	—	—	